



『 ノロウイルスについて 』

ノロウイルスは、感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)の原因のひとつです。主に冬に流行します。潜伏期間は24～48時間で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛ですが、症状が現れないこともあります。抗生剤のような特效薬はなく、症状に応じて吐き気止めや整腸剤、点滴の治療を行ないます。通常は1～2日間で回復しますが、お年寄りや乳幼児、そのほか抵抗力の弱い方は、まれに重症化することもあり、注意が必要です。

ノロウイルスは、少ないウイルス量でも感染するといわれています。流行の時期には予防のため、石けんを使い十分に手洗いを行なうことが大切です。患者さんの吐物や便を処理する場合は手袋、マスク、ガウンを使用しビニル袋で密封すること、床などは塩素系の漂白剤でふき取ることが勧められています。症状が消失しても、ウイルスが1週間から1ヶ月、便中に認められることがあり、調理師など食品を扱う場合、特に注意が必要です。

ノロウイルスの検査は、自費になります。医師に御相談ください。



鹿児島厚生連病院
消化器内視鏡科部長
福田 芳生